

Sun Ray™ Connector for Windows OS Version 2.0

リリースノート

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 820-2041-10
2007 年 9 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005, 2006, 2007, Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun Ray, Sun Ray Connector for Windows OS, Sun WebServer, Sun Enterprise, Ultra, UltraSPARC, Sun Java Desktop System, SunFastEthernet, Sun Quad FastEthernet, JDK, HotJava, the Appliance Link Protocol (ALP), Java, AnswerBook2, docs.sun.com は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Netscape は、米国 Netscape Communications 社の商標もしくは登録商標です。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun Ray™ Connector for Windows OS, Version 2.0 Release Notes
Part No: 820-0420-10
Revision A



目次

新機能	1
変更された機能	2
uttsc -D	2
韓国語キーボード	2
印刷のサポート	2
PC/SC-lite のサポート	2
パッチ要件	3
Trusted Extensions のサポート	3
オーディオデバイスの割り当て	3
Connector ウィンドウによって隠されているロック画面	3
既知の問題	4
既知のバグ	4
その他の問題	7
Windows ターミナルサーバーのスマートカード認証	7
PCFS フォーマットのメディアアクセス	7
マニュアル	8

Sun Ray Connector for Windows OS Version 2.0 リリースノート

Sun Ray™ Connector for Windows OS は、Sun がサポートする、Microsoft 認定の端末サービスクライアントで、Microsoft Remote Desktop Protocol (RDP) バージョン 5.2 に基づいています。これについては、『Sun Ray Connector for Windows OS インストールおよび管理マニュアル』に記載しています。便宜上、Sun Ray Connector for Windows OS を Sun Ray Connector と呼びます。

新機能

Sun Ray Connector for Windows OS Version 2.0 では、以前のバージョンにあった機能に加えて次のサポートが追加されています。

1. Solaris 10 Update 3 プラットフォームでの Sun Ray Connector の使用
2. Solaris 10 Update 3 プラットフォームでの Solaris Trusted Extensions の使用
3. Microsoft Windows Vista への接続

変更された機能

uttsc -D

-D オプションは非推奨となって無視され、エラーとはみなされません。次回のリリースでは削除され、エラーとみなされるようになります。ウィンドウ属性は、現在、デフォルトで無効となっていて、新しい -E オプションで有効にできます。

韓国語キーボード

Sun Ray Connector で韓国語キーボードを使用するには、-k "sun(kr)" オプションを指定して SRWC を起動してください。次はその例です。

```
% /opt/SUNWuttsc/bin/uttsc -k "sun(kr)"
```

印刷のサポート

PostScript プリンタを除くすべてのプリンタで、プリンタドライバの指定が必要になりました。詳細は、『Sun Ray Connector for Windows Operating Systems 2.0 インストールおよび管理マニュアル』の 23 ページの「印刷待ち行列の設定」および 25 ページの「Sun Ray プリンタを Windows で使用可能にする」を参照してください。

PC/SC-lite のサポート

Sun Ray Server Software は、Sun Ray DTU に接続されたスマートカードおよびスマートカードリーダーへのアクセスを可能にするために、業界標準の PC/SC-lite API をサポートします。

PC/SC-lite 1.0 は Sun Download Center で入手可能です。インストールの手順や詳細な説明については、『PC/SC-lite 1.0 Release Notes』を参照してください。

パッチ要件

次のパッチ (まだ推奨されたパッチクラスタの一部になっていない場合もある) が Solaris の実装に必要です。これらがインストールされていることを確認してください。

表 1 Sun Ray Connector 2.0 に必須のパッチ

説明	パッチ番号
Solaris SPARC	125279-03, 120094-14
Solaris x86	125280-03, 120095-14

Trusted Extensions のサポート

オーディオデバイスの割り当て

Sun Ray Connector は、コネクタのインスタンスごとに新しいオーディオデバイスを作成します。

Sun Ray Connector が起動される前に、Trusted Extensions デバイス割り当て GUI を使用してデフォルトのオーディオデバイスを割り当てていない場合、オーディオは Sun Ray Connector セッションから機能しません。

Connector ウィンドウによって隠されている ロック画面

Trusted JDS を使用している Solaris Trusted Extensions プラットフォームでホットデスク処理を行うと、全画面の Windows Connector セッションによってロック画面が隠される場合があります。

このような状態が発生しないようにするには、
/usr/openwin/server/etc/TrustedExtensionsPolicy ファイルに次の行を追加してください。

```
"property _SCREENSAVER_STATUS"
```

既知の問題

ここでは、最新の既知のバグとその他の問題を報告します。また、回避方法がある場合は、合わせて提示します。

既知のバグ

バグ ID 6350936

Windows アプリケーションからオーディオおよびビデオを再生すると、uttsc によって CPU が過度に (約 50%) 消費されます。

バグ ID 6361417

特定のシナリオにおいて、シリアルポートを Windows ターミナルサーバーにリダイレクトすると、Sun Ray サーバーの CPU が最大で 99% 消費される場合があります。

バグ ID 6408886

uttsc または uttscwrap を、日本語ロケールでコマンド行オプションを指定せずに実行した場合、MS-IME が有効になりません。

uttsc または uttscwrap に、オプション `-l ja:IME` を指定して実行してください。次はその例です。

```
% uttscwrap -l ja:IME
```

バグ ID 6472260

Windows 2000 サーバーへのログイン中にコマンド行で `-u` と `-p` の両方のオプションを使用すると、プリンタ構成は格納および復元されません。

バグ ID 6497242

Linux 上の Windows Vista セッションでオーディオファイルが再生される場合、オーディオは明瞭に再生されません。

バグ ID 6498445

SRWC は、サイズが 2G バイト以上のリダイレクトされたファイルを表示できません。

バグ ID 6537578

SRWC で、Sun Ray DTU の Ctrl-Alt-Backspace-Backspace、Ctrl-Moon、Shift+Props などのキーシーケンスを使用すると、メタキー (Ctrl または Shift) が Windows セッションで押されたままになることがあり、予期していないキーボード動作の原因になります。

この問題を回避するには、Windows セッションでメタキー (Ctrl または Shift) を 1 回押して離してください。

バグ ID 6544282

SRSS のマルチヘッド機能および Xinerama が有効である場合、全画面モードで SRWC セッションを起動すると、二次ヘッドにセッションが表示されません。

バグ ID 6566313

SRWC を全画面以外の画面で -K オプションを使って起動し、SRWC ウィンドウからその他のウィンドウへの切り替えのために Alt-Tab を使用した場合、SRWC セッションにマウスで移動して戻って Windows デスクトップのアプリケーションまたはフォルダをダブルクリックしても、アプリケーションまたはフォルダは開かず、プロパティのページが表示されます。

この問題を回避するには、マウスが Windows セッションにあるときに、キーボードの任意のキーを押して離してください。

バグ ID 6569123

SLES9 で、Sun Ray から Windows への大量データのカット&ペーストまたはコピー&ペーストが失敗します。

また、大量データのカット&ペーストまたはコピー&ペーストは、サポートされているすべての Solaris デスクトップおよび Linux デスクトップの SRWC とデスクトップアプリケーション間でも失敗することがあります。コピー可能なデータの最大量は 65435 バイトです。

この問題を回避するには、データをより細かく分けて、カット&ペーストまたはコピー&ペーストしてください。

バグ ID 6573456

Trusted Solaris 環境で、異なるラベルで実行されているアプリケーション間でコピーまたはペースト操作が許可されている場合、管理者は Trusted Solaris の要件に従って特権が正しく設定されていることを確認してください。特権が正しく設定されていない場合、SRWC と gedit などの異なるラベルで実行されているその他のアプリケーション間でコピーまたはペースト操作が試みられると、SRWC アプリケーションが予期せずクラッシュすることがあります。

この操作を可能にするために必要な特権を確認するには、docs.sun.com にある Solaris Trusted Extensions のマニュアルを参照してください。

バグ ID 6576612

xscreensaver を終了させると、SRWC が表示されなくなることがあります。

xscreensaver デーモンが Linux デスクトップまたは Solaris の JDS で異常終了している場合、SRWC を起動しても SRWC ウィンドウが表示されないことがあります。

この問題を回避するには、次のように xscreensaver の「選択」ウィンドウから xscreensaver デーモンを再起動してください。

1. Solaris の JDS で「起動」->「選択」->「デスクトップ選択」->「表示」->「スクリーンセーバー」と進みます。
2. 画面をロックし、再びロック解除します。
3. SRWC を再起動します。

バグ ID 6579953

Red Hat Linux で、ホットデスクイベント (つまり、スマートカードの取り外しと再挿入) のあと、xscreensaver が起動しないことがあり、マウスがハングアップすることがあります。

全画面でないモードで uttsc を起動し、同じ DTU でカードを取り外してから再び挿入すると、マウスポインタが消えて、画面ロックが現れないことがあります。この問題は Linux にのみ起こり、通常、SRWC ウィンドウがデスクトップの中央にあって、カードを挿入するときにマウスポインタがデスクトップの中央にあるとこの問題が発生します。

この状態から回復するには、xscreensaver プロセスを終了して再起動してください。

その他の問題

Windows ターミナルサーバーのスマートカード認証

Windows ターミナルサーバーにユーザーを認証するためにスマートカードを使用するには、次の URL にアクセスして Base Smart Card Cryptographic Service Provider パッケージアップデートをインストールしてください。

<http://support.microsoft.com/kb/909520/en-us>

このアップデートによって、Sun Ray 環境での画面ロック解除動作が改善されます。

PCFS フォーマットのメディアアクセス

Solaris でのファイルコピー (バグ ID 6546531)

サイズの大きなファイルを Windows から PCFS フォーマットのリムーバブルメディアにコピーすると、予期した時間より長くかかることがあり、ハングアップしているように見えることがあります。十分な時間が経過すれば処理は完了します。これは PCFS の既知の問題です。

Linux でのファイルコピー

Linux の既知の制限により、サイズの大きなファイルを Windows から PCFS フォーマットのリムーバブルメディアにコピーすることはできません。この状態を回避するには、UFS、ext3、etc など、PCFS 以外のファイルシステムを使用してください。

バグ ID 6404368

デフォルトでは、Sun Type6 日本語キーボードが認識されません。

解決方法:

「-k "sun(type6jp) "」オプションをつけて、uttsc もしくは uttscwrapper を起動してください。

例:

```
% uttsc -k "sun(type6jp)" windows-server.sun.com
```

マニュアル

この製品の最新のマニュアルは、docs.sun.com で入手できます。